

PLEIADES



2006年トルコ皆既日食ダイヤモンドリング

撮影：生田 盛

場所：トルコ共和国シデ(N36° 48 E31° 21)

日時：2006年3月29日13時54分58秒

画像：ビデオ画像(Sony DCR TRV900)よりキャプチャ

快晴に恵まれ、素晴らしい3分49秒間の天文ショーを楽しむことが出来き、生涯の思い出となりました。

詳細は5月例会で報告があります

札幌天文同好会 Sapporo Astronomy Club

札幌天文同好会50周年

事務局

2006年7月7日は、当会が発足してから、50年目のお目出度い日です。

つきましては、4月例会において、お祝いをすることに決定いたしました。

開催日時は、7月例会に併せて、7月1日(土)夕刻から。

会場などについては、越後会員に一任いたしました。

日頃例会に参加できない会員の方も、ぜひ、出席していただくようお願いします。

ポイマンスキー彗星の撮影その2

柴田健一

3月号で、3月4日に撮影したポイマンスキー彗星を紹介しました。じつはこの時、もう撮影のチャンスは巡ってこないだろう、と必死でした。ところが幸運にも3月10日に再び、旭川でも撮影の機会に恵まれました。この夜の狙いは、背景の「いるか座」です。PCが不調で何度も固まってピント出しに手間取ったうえ、ピントも完全ではありませんでした。それでも、尾が3°程度伸びており彗星らしさが味わえます。

撮影条件としては、一晩中良好な透明度に恵まれましたが、気温は-11。なお、この夜以後は、彗星と反対方向の西の空に月が架かってきました。



2006/3/10 04:33 ~ 04:35 (JST)

Nikon D70 + 180mm F2.8ED

ASA800 30sec x 4 + GPD赤道儀

北海道 旭川市近郊(東川町) にて

3月例会 出席者の一言

中山 正：あいさつが遅れましたが、今年から事



務局長になりました。どうぞよろしくをお願いします。不慣れなことも多いと思いますが、その時はしかってください。

今年も「ニュートン」のモニターになりましたが、天文オンリーのモニターで行きます。

後藤榮雄：3月29日のアフリカ・トルコ日食は、各地とも晴天に恵まれてコロナが見られたようで良かったですね。私の海外での日食観測は1986年北シベリア、1991年メキシコ、1994年ペルーの3回で、シベリアだけが曇り/雨で全く見る事が出来ませんでした。メキシコとペルーは美しいコロナを見ることが出来ました。もう一度コロナを見たい気もしますが、2009年7月22日に上海、トカラ列島を通る皆既日食(継続時間6分以上)を見に行けるかどうか、健康であるよう頑張らなくちゃと思っています。

石塚宣充：街灯の数が年々多くなって、家の前にもあります。防犯上、仕方がないですね。

西野 浩：仕事の忙しさから、ようやく開放されました。年度末は毎年の事ながら忙しく、空が晴れていても星見が出来ない日が続きました。これからは、ピクセンのスカイセンサーを使って、星の導入訓練をしたいと思います。

越後恵子：TVで皆既日食の生中継を少し見ましたが、次回は是非行ってみたいです。今年は雪解けが早くて、山菜採りが楽しみです。今夜の三日月もきれいです。

柴田健一：例会で液晶プロジェクターに接続しているnotePC(メビウス PC-CB1-CDAthlon 4 mobil 1.1 GHz)が固まります。原因は無線LANのソフトでしたが、これがわかるまで2度も再インストールをしました。再インストール自体は比較的簡単ですが、サービスパック2や、セキュリティーソフト、さらにワープロや天文ソフトなどのインストールが大変で、2日間を費やしました。



小樽星の会 古川会長のお見舞い

中山 正

一年以上も東小樽病院に入院しています。春分の日には退院したいと思っていたのですが、リハビリがもう少しかかるということで、夏至の日が目標になりました。ベッドから車いすに移乗が手助けなしにできるようになれば退院だそうです。入院当初は全身マヒ状態でした。現在、右マ

ヒを残して動くようになったそうです。

小樽星の会では掲示板を開設しました。会員の書き込みが自由にできるようになったのですが、古川さんはパソコンが使えないので・・・、誰かに持ってきてもらって見たり書き込んだりしてみたいとおっしゃっていました。(3月26日)

「ニュートンモニター」を引き受けてみませんか

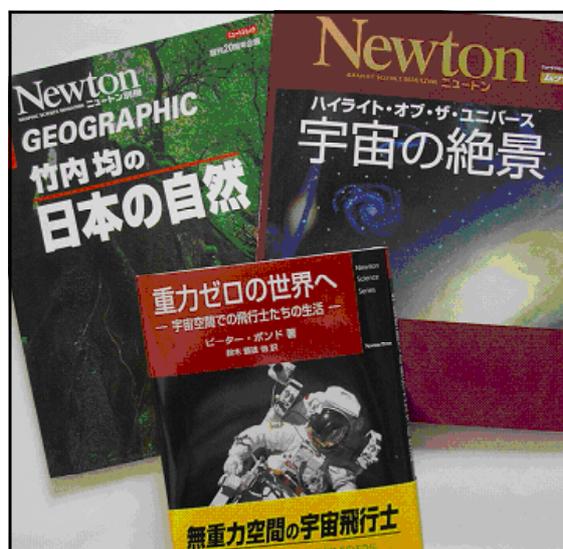
中山 正

昨年4月から今年3月までニュートンモニターに当選し、引き受けました。毎月すべての記事を目を通し、アンケート用紙に記入し(番号選択と記述) 期日までに郵送しなければなりませんでした。時間と労力の必要な作業でした。私は、郵送ではなく、FAXで返信させていただきました。

全号期日までに返信したモニターには半年ごとに、指定された八つの雑誌から1冊お礼としていただけます。私の場合は、ニュートンムック刊の『竹内均の日本の自然』と『宇宙の絶景』をいただきました。さらに、毎月返信した全モニターの中から5名だけ、指定された22の雑誌から1冊だけ当たります。私も今年の3月にやっと1冊当たりました。それはニュートンプレス刊の『重力ゼロの世界』を選んだときでした。

モニターに当選したことを切っ掛けに、ニュートンの記事から天文関連をピックアップしたニュートンモニターレポートを札天例会で紹介させていただいています。(会員への配布はニュートンモニター担当者から許可受諾済み)

金額もさることながら、ニュートン関連書籍が半年で必ず1冊もらえるのは、とても嬉しい「モニターお礼」だと思います。毎月忙しい思いをしますが、頑張ると「知識のおまけ」が手に入ります。欲しい雑誌があれば皆さんも応募してはどうでしょう。当選するかどうかは運ませですが、応募しなければ当たりません。



ニュートンモニターの謝礼で戴いた書籍

ニュートン天文ピックアップレポート 4月号(2006)

口径800メートル相当の望遠鏡実現へ前進
ハワイ、マウナケア山頂の「keck」と「keck」が光ファイバーで結ばれ分解能を大幅に上げることに成功。「OHANA計画」では最終的に「Gemini」と「すばる」がつながれ、口径800メートル相当の分解能を実現することを目指す。
(アストロノミー・トゥデイ)

宇宙で最も明るい天体の正体と進化にせまる
クエーサーの正体は太陽質量の10億倍の超大質量ブラックホールだと考えられている。クエーサーは降着円盤の0.01光年ぐらいの部分が輝いて太陽より1兆倍も明るくなる。

分裂彗星 シュワスマン・ワハマン第三彗星 観測会のお知らせ(再周知)

大樹町晩成温泉を拠点として、5月1日(月)～5日(金)まで標記観測会を実施します。この期間、日中の仮眠用に6人部屋を確保しました。参加される方は任意の日を決めて、柴田まで連絡を下さい。

TEL:090-2052-8421

Eメール:Shibata@mb.snowman.ne.jp

宿泊費は、素泊まり3000円/泊です。

これまで参加を表明された方は、中山会員・越後会員の他、豊田さん・鉢呂さん・野田頭さんなど、当会の会員以外を含めて5名です。右の図は5月2日24時の夜空です。分裂した多数の彗星核がヘルクレス座の、球状星団M13に接近しています。



事務局より

例会会場の申し込みについて

4月から区民センターの申し込み方法が変更になりました。6月からの例会会場の区民センターの申し込みは事務局で行います。事前登録団体に対してはTEL・FAXでも申し込み可能になります。使用料支払いは当日の19時まででOKになりました。(忘れると以後使用停止になりますが)。

大通り公園の使用許可について

削除

読売新聞からの取材申し込み

毎週木曜日夕刊に連載されているコラム「北の仲間たち」のライター佐々木氏から取材の申し込みを受けました。望遠鏡で星を見ているところを取材したいそうです。記事は、夕刊 一面左横に見だし紹介があり、11面の「You Yomi Hokkaido Thu」のコーナーの「北の仲間たち」というサークル紹介コラムに載ります。ムーンライトウォッチングを取材していただこうと考えています。

5月例会のお知らせ

5月6日(土) 18時から 中央区民センター C会議室

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目 TEL: 011-271-1100 駐車場(無料)

話題

トルコ皆既日食観測報告 (生田 盛)

シュワスマン・ワハマン第三彗星観測会 (柴田健一)

会報のHP掲載に伴う郵送の辞退について (生田 盛)



地下鉄東西線西11丁目駅から徒歩5分

編集後記

柴田健一

今月の一言に記しましたが、ノートパソコンの再インストールで時間をロスしましたが、会報作成では、デスクトップパソコンにトラブルが発生。五年振りにバージョンアップした「一太郎」にエラーが発生し、作業が出来なくなりました。「一太郎」を再インストールしても変わらず、またノートパソコンでも同様のエラーメッセージを表示します。やむなく、五年前のバージョンで作成しました。おそらく、バグだと思えます。ワードと比較するとダントツに使い勝手の良い日本語ワープロなので愛用していますが、残念です。

今月から「事務局より」は事務局長に書いていただくことと、中山さんと打ち合わせをしていました。しかし、例会の席で相当量の原稿を頂きましたので、編集局が原案を作成し、事務局でチェックして掲載となりました。

今月の発行、つまりホームページへのアップは八日頃となりそうです。ページ数が少ないと作成も容易です。原稿が少なければ、情報が早く届くし、内容が豊富であれば遅くなります。それは「寒くて天候の悪い冬の夜が長くて、暖かい夏の夜は夜明けが早い」が如くです。

ともあれ、北海道の人間にとってはこれからが活動し易くなります。「スワスマン・ワハマン第三彗星」に期待したいものです。

発行：2006(平成18)年 4月20日 札幌天文同好会 Sapporo Astronomy Club

事務局：〒007-0845 札幌市東区北45条東9丁目2-33 TEL: 011-741-8830

中山 正

編集：柴田健一 印刷：生田 盛 発行部数：25

HP: <http://www2.snowman.ne.jp/~Shibata/>

郵便振替口座：02780-7-31295 名称：札幌天文同好会